特色のあるため池の紹介

名　　称	所　在　地
三枚田（さんまいだ）	石川県珠洲市三崎町小泊

貯　水　量	受益面積	堤　　高	堤　頂　長
2 千m^3	10 ha	2.0 m	39 m

ため池の紹介文

三枚田は、珠洲市三崎町小泊周辺10haの農地をかんがいする6箇所のため池郡の一つです。珠洲市三崎町周辺は高い山や大きな河川等が少なく、昔から主な取水源として農業用ため池が活用されてきました。しかし、近年は過疎高齢化や米価の下落等の農業情勢の変化により耕作放棄地や休耕田が増加し、それに伴って利用されないため池も増加しており、未利用ため池の適切な維持管理が大きな課題となっています。

これまで農業に利用され、適切に維持管理されてきたため池は、希少な水生生物を含む多様な生物にとって重要な生息場所となっており、ため池の適切な保全・管理を行うことが、自然環境への配慮につながります。そこで、世界農業遺産に認定されているこの地域において里山里海の保全と利活用を目指して活動しているNPO法人（能登半島おらっちゃの里山里海）は、昔からこの地域のため池で自生している「ジュンサイ」に着目しました。「ジュンサイ」は高級食材として知られ秋田県・青森県が生産量の約９割を占めていますが、昔からこの地域で自生しているため、珠洲市内や七尾市の和倉温泉などの宿泊施設や飲食店などでも利用ニーズが高い食材となっています。この「ジュンサイ」を地域資源として活用するため、現在、ため池の管理者や利用者などの関係者との合意のもと、NPO法人が中心となってため池に自生する「ジュンサイ」の収穫・販売を行っています。その収益の一部は、ため池周辺の保全や管理作業などに利用しています。この活動を参考に、ため池の維持管理につながる取組みが広がっていくことが期待されています。

ため池の写真

ジュンサイの収穫風景